東京ジャーミイ金曜日のホタバ
2008 年 11 月 14 日

宗教と知識

親愛なるムスリムの皆様。

偉大なるアッラーが、人類が現世と来世の救いを得ることができるようにと送られた信仰と生き方に宗教という名を与えられました。神から下された宗教のうち最後のものが、預言者ムハンマドに下されたクルアーンが示している、神の真実を示しアッラーの使徒が生涯をとおして実践され私たちの模範となられたイスラームの教えなのです。クルアーンでも明らかにされているように、「本当にアッラーの御許の教えは、イスラーム（主の意志に服従、帰依すること）である。」（イムラーン家章第１９節）「イスラーム以外の教えを追求する者は、決して受け入れられない」（イムラーン家章第８５節）のです。

私たちの宗教の源はクルアーンと預言者ムハンマドのスンナ、つまり言行集です。イスラームの最初の世代である教友たち以来イスラームの学者たちは私たちの教えをこの二つの源の光によって実践し、その正しい知識をもたらしてきたのです。

疑うべくもないこととして、あらゆる文化においてそうであるようにイスラーム文化においても、正しい知識や実践と並び、クルアーンやスンナの原則に合致しない誤った知識や実践が存在してきました。これは、普通のことであると受け止めるべきでしょう。なぜなら人が存在する全ての場所では、正しいもののそばには誤ったものがあり、善のそばには悪があるのです。ただ、信仰、崇拝行為やこれらに類する宗教的分野においては、正しい知識と実践を誤ったものと区別し、正しいイスラームの知識をもたらした多くの学者が育ち、何千もの作品を残しています。

親愛なるムスリムの皆様。

私たちの宗教的・文化的伝統において、宗教に関して誤ったことを話し、書く人々を黙らせるのではなく、大きな規模で表現の自由が優先され、誤った道を行く人々とは知識の基礎の部分で争われてきました。この形で、ウンマが正しい知識を得ることができるように多くの作品が生み出されてきたのです。しかし残念なことに、この１００年、１５０年の間に世界で広まったいくつかの宗教対立の奔流の影響もあって、正しい宗教的知識に到達することが困難になっているのです。教えの源に合致させることが不可能な思想や実践が登場してきました。そのために宗教的分野でも混乱が生じ、知性を曇らせるような状況となりました。このマイナスの展開の影響は今でも一定の規模で継続しています。しかし、アッラーに感謝すべきこととして、高度な宗教教育を与える施設で育った宗教を実践する人々の効果的な活動により、イスラームについてクルアーンや預言者ムハンマドのスンナ、イスラーム学者たちの信頼できる作品に基づいた正しい知識を持った書物が書かれており、これらの数や質も迅速に向上してきています。

あらゆる分野においてそうであるように、宗教に関しても「知識の時代」と呼ばれる時代を私たちは生きています。人の文化レベルは日々向上しています。さらに、人々のイスラームへの関心も強まってきているのです。ムスリムの信仰の段階も上昇してきており、また一方で宗教上の寛容性も発達してきています。こういった状況においては、もはや宗教上の事柄についても、正邪の区別を行うことをより注意深く、責任を持って実践すること、信心を正しい知識に基づくものとなすことが必要なのです。

崇高なるアッラーが私たちの頭に正しい知識を、私たちの生によい行いを与えてくださいますように。